

令和6年度 第2回美郷町教育委員会会議録

日 時 令和6年5月28日(火)

13時30分～14時35分

場 所 役場本庁舎3F 会議室

〈出席者〉 阿川教育長、大草委員、兒島委員、梅原委員、岡先委員
教育委員会事務局：旭林教育課長、仲田（議事録作成：中村）

教育課長 五分前ではございますが、皆様お揃いですので、始めさせていただいても、よろしいでしょうか。

全委員 はい。お願いします。

教育長 第2回美郷町教育委員会の方、よろしく申し上げます。
始めに、私のあいさつですが、コロナやインフルエンザ、邑智郡ではあまり数字が高くなって、インフルエンザなんか0というところですが、コロナは、若干ポツポツというところで、学校なんかでは、学級閉鎖になったところもありますので、まだザワザワしてるところもあります。5類に移行しても、そう変わっていない感染防止対策に、努めるところでございます。蒸し暑くなりましたけども、比較的いい雨で、畑は喜んでございます。それから、邑智小も、プールに水をもう入れ始めました。校外へ出かけることも、本年度、多くなりました。事故は、もちろんですけども、熱中症もですね、大変な夏になることは間違いない、というところですので、心配されるところであります。もちろん、教育委員会の社会教育における活動についても、同じでして『子どもたちの命を守らなければいけない。』と思っている、この頃でございます。
それでは、今日の会議録署名委員さんは、梅原委員さんと岡先委員さんでお願いいたします。

両委員 はい。

教育長 会期の方は、今日1日で、よろしいでしょうか。

委員全員 はい。

教育長 会議録でございますが、いかがでございましたでしょうか。

大草委員 出席者のところですが、梅原委員さんの後に、岡先委員さん。確か、出席されたと思うんですが。

教育課長 大変申し訳ございません。失礼いたしました。すぐに修正かけます。

教育長 それでは、諸報告のところに入らせていただきます。数点ばかり、資料を載せておりました。

教職員については、いわゆる残業代の代わりに、教職調整額4%というのが、昔からですけど、これを10%に引き上げるっていうような、新聞記事が出ておりました。これは、イメージアップですよ。一生懸命そういうことをやろうとはしてますけど、これに反対する団体もあるようでして、これ僕も、それは若干思ってた、給料が上がったから働かないと駄目だっていう、真面目な意識が教員にはあるので、一部、もらった限りは、もっと働かないと申し訳ないっていうような感じで、確かに増える可能性はあるんですけど、ただ、そこまでしないと、やっぱり、若い人の魅力っていうのはないのかもと思ったりしております。この後、残業時間を20時間に目標設定する、今、45なんですけど、時間外を減らすイメージアップを図るっていうのは、これからも進めていくと思います。大体、島根県も、美郷町も、働き方プランでは、月に45時間の時間外勤務、そして、年間360時間が目標の値なんですけども、今、月45っていうのは、クリアしてるんですけども、ただ、8月っていうのは、夏休みがあったりするので、年間360を超えているっていう状況は、ありますので、もっともっと月45っていうのが、本当にやっぱり実質30なのか、20にまで、近づける数字にならないといけないなと感じました。

資料の2番、表があって、年休、その前に、月に80時間が延べ7人いました。独身の方が多いです。教材研究することに意欲を感じてるとかですね。年休取得っていう表を載せてます。資料の2番にですね。これ、ざっと説明しますと、年休を上のは、何日取ったかっていう表ですけど、黄色に塗ってあるのは『0』っていうのがございます。中学校に『0』、いけませんね。本当に、仕事が好きなのはいいんですけど、そういう学校にしては、やっぱりいけないなと。校長先生にも、年休を5日以上取ろうっていうことは、言い続けてきましたけど、結局、蓋を開けたら『0』のままです、これは、いかなんと思っております。

梅原委員 その方は、若い方ですか。

教育長 若い、30前後の先生ですね。

兒島委員 取得の計画を立てたら、どうだったんですかね。

岡先委員 施設とかの職員は、立てますよね。

兒島委員 大体、このぐらいのところで『5日、取ります。』っていうのを、今年は、や

ってませんけど。

梅原委員 年度当初にね。

兒島委員 年間で、大体、何月、何月、何月に、5日は取りますってことを本人から計画的に、取るようにってことで。

大草委員 教職員の有給休暇って、民間とかは、普通20日、20日の最高40ですけど。

教育長 大体、この表の半分から上は、40です。下の方は、20ぐらい。ですので、休めばいいかっていうこともあるんですけども、このことも含めて、やっぱり美郷町の教育の働き方改革プラン、令和元年、大分前にされたものなので、この見直しをしながら、きちっとプランに従った指導をしていかんと、本当の働き方改革にならんなと思っております。また、働き方プランの修正したものをお示ししたいと思えます。

3番目、子どもの権利条約批准30年なんていう記事がドンと出て、そうなのかと。子どもの権利と聞くと、私、どうしても西原議員の『こども基本法』とかが気になって、ちょっと読んでみたんですけども『こども大綱』とか、ああいう文字が出てきたので、皆さんにも機会と思って、お示ししました。記事の最後のところに、自治体版の大綱となる『こども計画』の策定というの、これを県が出して、今度、市町村に降りてくるっていうのは、去年も話があったんですけど、いよいよ、その作成に取りかかれるんですけど、なんぞ作らないといけません。

続いては、子ども食堂の記事も載ってて、島根県98ヶ所もあるという。代表の方に尋ねたら「そうよ〜。」と知っておられて、さすがだなって思いました。ここの記事には、どれも運営に課題があるという。若干、代表もそうおっしゃっていましたが、お米の寄付があったり、いろんな寄付があって、何とかやってるし、補助金もあるしねと。私は、いつも買って「おつりは、いらない。」って言って、帰るんですけど。

兒島委員 ありがとうございます。

教育長 きっと、そうだろうな。あんなご馳走作るのに、かなりお金ないといけないだろうと感じておまして、せっかくなので、皆さんにも計画表を載せました。

大草委員 今日、やっていますね。

岡先委員 こんなに、あるんですね。

教育長 兒島さん、寄付金なんて、受け付けてますか。

児島委員 寄付金も受け付けしてますよ。最初の頃は、寄付金でいろいろ、やらしてもらったりとかしました。

大草委員 5月28日、みさと館調理室。

教育長 お近くのときは、皆様も、お出かけください。

大草委員 1回行ってみようと思ってるんですけど。

教育長 早く行かないと、売り切れになったりしますからね。

大草委員 そうですか。

児島委員 本当いえば、食を通して、居場所になっていくような形にしたいんですけど。ちょうど、始めたころが、コロナ禍だったりして、今は、テイクアウト方式みたいな感じになって、お弁当を持って帰ってもらって、食の支援にはなっているんですけど。地域の居場所に繋がるような、何かもう少し取っかかり、子ども食堂って本来どうなんだろうなっていうようなところ、もう少し、何か考えてもいいよねっていう話は、代表の方ともしてるんですよ。

梅原委員 4月の20日に浜原隣保館でやったんですよ。地域食堂という名前にしてね。20食か30食、作られたんだけど、意外と売れなくて、というか人が来なくて、余っちゃって、急遽、役員に電話して「来い。」とか、そんな話になったんですよ。なかなか周知するのが難しいね。

児島委員 集まっているところで、やったりとかはしているんですけど。

岡先委員 計画を皆さんに、出すとかっていうことは、ないんですか。

児島委員 一応『この日に、やりますよ。』という周知は、さしてもらってます。小中学校を通してとか、各公民館、保育園なんかも、チラシを配ってもらってやっておるんですけど、でも少しずつ根づいてくるのかなと。以前は、教育委員会でNOBINOB Iに来られる学生さんと一緒になって、そこで、食べてっていうようなことなんかもあったんですけども。

教育課長 美郷町で食に困窮しておられる子どもさんは、どの程度おられるのだろうか。地域食堂を運営しておられるスタッフの皆さん方は、どのように、把握しておられるのでしょうか。

児島委員 最初は、そういう世帯もあるから、そういった子たちにも届くようにということで、でも、限定して届けるわけにはいかないっていうところもあるので、気にはしますが、直接、そこに、今、届いてるのかどうかというところは、ど

うかなって。

教育課長 どうしても、イメージの中で、当初の子ども食堂っていうのは、食の困窮、本当に給食をがつつくように食べる子どもたちが、他府県にはおられるようで、そういったところから、出てきた事業ですよ。

児島委員 そうですね。

教育課長 それを決して、否定するわけではないんだけど、地域食堂っていう看板を掲げて取り組まれるのであれば、その食プラス、何の要素があるのか、子どもたちとそのスタッフの皆さん方が、食事をしながら、スタッフは何か子どもたちに声かけをすとか、そういったところを、少し明確に持たれると、参加者なり、周りのスタッフも、どんどん増えてくるんじゃないかなって思います。すごく、いい事業だと思っているので。

児島委員 どっちかという、今、子どもメインというよりは、地域の方で、孤食のところ、お1人のところに、お弁当が届いたりとか、まさに、届けることによって、誰かが代表してというか、お弁当を購入に来られて、自分で気になる所に配っておられる方もおられて、そういうような、逆に、そういう違う支援の形じゃないですけど、そういったところにも、繋がっているところもあったりするんですけど、今、言われるように、本当、地域食堂おむすびっていうんですけど、何を目的に、どんなことやっていきたいかをもう少し、何かこうなってくるといいのかなと。お弁当屋で終わるのは、良くない。

教育課長 ちっちゃな町なので、いろんな要素が、どんどんどんどん、加味されてきているんですね。

児島委員 そうですね。

岡先委員 今の対象は、全部。地域食堂なので全ての人ですよ。

児島委員 誰でも、ですね。場所をいろんな所で、やらせてもらったりです。拠点としては、長藤集会所と社協、あと、みさと館といったところで、地域での集まりがある所に行かしてもらったり、いろんな地域で、やらしてもらったりっていう感じですが。ただ、ボランティアでやっておられるので。

大草委員 何人でやっておられるんですか。

児島委員 4人ぐらいですね。

岡先委員 結構、負担じゃないですか。

梅原委員 大変ですよ。

大草委員 どのくらいの食数なんですか。

兒島委員 大体30～40食。これくらいのお弁当です。

梅原委員 上手に作ってありますよ。

兒島委員 あまり負担にならないように、継続できるように、無理しないようにやっていきましょうって言って、今は、やっています。

梅原委員 浜原は、連合自治会が、共催みたいにしてやってるから、いつも、会長と僕が受け付けするんだけどね。余ったら、どっかに、持ってったりするんですよ。他の地域もそうなんですか。

兒島委員 いろいろあります。自治会がやっておられるサロンに合わせてだとか、いろんなパターンがあります。子どもの『いつでも道場』にみたいな形のところにも行ったり、いろんな形があるんですけど、それも無理がないように、今、続けています。

梅原委員 寄付する人が、少ないんだってね。古米が30キロ余ってね。冷蔵庫に入っていたので、大丈夫だと思うけどって「いいのか。」って聞いたら「歓迎します。」って言われてね。持って行ってくれたのよ。そしたら、喜んでいただいてね。「助かった。」って、いろいろあれば良いなと思っておりますし、協力したいと思えます。

兒島委員 利用者の方に、それこそいただいた食材を、置いとくわけにもいかない場合もあるので、お配りするお弁当と合わせて、フードパントリーみたいな感じで、お渡しするようなことなんかも、やったりはしています。

教育長 大和、長藤は、大人の方が4時過ぎに並んで待っておられるよね。

兒島委員 大和は、結構、広範囲に、いろんなところから来られますね。

教育長 また、ご協力します。

続いては、校務支援システム本稼動と、レジユメの方にありましたけども、先生方、浜田教育事務所管内、みんな同じシステムを入れたので、これで、スムーズにデータのやり取りができるような準備は、整いましたが、あとは業務をする教職員に慣れてもらうというところで、もう少し、慣れてきたら、情報が出せると思いますが、そういう、もう何億っていうシステムを、浜田管内、3市3町に入れましたので、お知らせします。

そして、最後6番目、3つほど言いますが、最初に、今年も来ました。新規

採用教員の面接官、1名を推薦してもらえないかということです。ご希望がございませうか。締切り19日まで、日がありますので、言ってください。それからですね、新しいALTさんが来られます。

大草委員 カナダですね。

教育長 ALT1名は、7月31日で終わりです。
最後に、読売新聞に麻布大学、いろいろな大学紹介、ちょっと切れとって、申し訳ないんですけど、キャンパスが、この町にもあるので、麻布大学ももうちょっと調べてみないといかんなどということで、載せておきました。
以上でございます。何か、話の中で、あればしてください。
では、議事、今日ございませぬ。その他、課長の資料ですね。

教育課長 それでは、報告案件の方に移らせていただいてもよろしいでしょうか。

委員全員 はい。

教育課長 それでは、報告事項フォルダをお開きいただければと思います。
報告①「シブヤ未来科」(新聞記事)について(資料により説明)
報告②「令和6年度美郷町総合教育会議」について(資料により説明)
報告③「令和6年度島根県市町村教育委員会連合会研修会の開催について」
(資料により説明)
報告④「令和6年度第1回連合自治会長会議」について(資料により説明)

梅原委員 先ほどの、連合自治会宛に本を貸し出すんですけど、浜原の場合は、貸付先は隣保館でいいんですか。もし、浜原連合自治会が本を貸して下さうって要望を出したら、その本の持ち込み先は、隣保館しかないんですよね。

教育課長 どこか施設に置くというイメージではなく、連合自治会さんをあくまでも窓口にします。連合自治会さんの方に、例えば30冊だったら、30冊を梅原さんの所にお届けします。そこから先は、例えば、上川戸中自治会が、今月、こういったジャンルの本を10冊借りたいっていうことになると、今度は30冊の内の10冊を、上川戸中の自治会さんの方に貸し出しをされるってことになります。

梅原委員 集会所とか、そういうイメージですね。

教育課長 報告⑤番「令和6年度美郷町教育委員会視察研修」について
— デュアルスクール体験映像を全員で閲覧 —

教育長 はい。これで終わりですかね。次回、6月25日です。

それでは、第2回の教育委員会、終わりにします。ありがとうございました。

委員全員 ありがとうございました。

署名者 委 員

梅原高唯'

委 員

岡先かえで'

記録者

中村 紀子